

**JASDAQ**

2018年7月26日

各 位

会 社 名 株式会社セプテーニ・ホールディングス
 代表者名 代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
 (JASDAQ コード番号 4293)

2018年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2018年9月期第2四半期決算発表時に開示しました2018年9月期通期(2017年10月1日～2018年9月30日)の連結業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2018年9月期通期連結業績予想(2017年10月1日～2018年9月30日)

	収益	Non-GAAP 営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 16,376	百万円 1,718	百万円 1,204	円 銭 9.52
今回発表予想(B)	15,225	862	720	5.70
増減額(B-A)	△1,151	△856	△484	—
増減率(%)	△7.0	△49.8	△40.2	—
前期実績 (2017年9月期通期)	14,702	2,325	2,211	17.38

(注) Non-GAAP営業利益は、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標であります。

2. 修正の理由

本日公表の2018年9月期第3四半期連結累計期間業績において、主軸のネットマーケティング事業、メディアコンテンツ事業ともに収益が前年同四半期を上回る結果となりました。しかしながら、競争力強化を目的としたクリエイティブに関する費用、人材投資等の費用増に対して、とりわけ国内ネットマーケティング事業における取扱高が低調に推移いたしました。

このような状況より、当期第2四半期累計期間決算発表時に開示しました当期通期業績予想に対し、当第3四半期累計期間迄の進捗が低調な結果となっているため、当期通期連結業績予想を修正するものであります。

当期につきましては、当社グループが持続的且つ強い成長軌道に乗るための重要なフェーズであると認識し、経営基盤強化を目的とする先行的な投資を実行しており、当期期首よりスタートしました人事制度改革もその一環であります。これは、人材が最大の資本であり競争優位性を獲

得するための源泉であると認識する当社が、中長期的な競争力を強化し持続的成長性を高めていくことを目指したものであります。かかる投資実行により、人件費や人員増に対応する本社事務所の増床費用やリモートワーク環境の整備に伴う費用等が前期比で増加し、販売管理費が上昇しております。

一方、現時点において採用した人員の戦力化等、組織力向上に関する成果が確認できており、引き続き経営基盤の強化を図ることで、来期におけるトップラインの再成長とコストコントロールによるV字回復を目指す方針であります。

尚、期末の配当予想につきましては、前回発表予想からの変更はありません。

<ご注意>

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上

■ 本件に関するお問合せ先

経営企画部 I R 課 TEL : 03-6857-7258